

今年は丑年。牛は古くから人間を助けてくれた大切な動物でした。大変な農作業を最後まで手伝ってくれる働きぶりから、丑年は「我慢する、耐える」、「これから発展する前触れや芽が出る」というような年になると言われています。世界を見回しますと、コロナウィルスの感染拡大は一向に収まる気配を見せず、ワクチンが私たちに行き渡るまで今年いっぱいはいかかりそうだし、山下JOC会長によればオリンピックは何か何でもやるということです。

このような中、私たちとしては、今年一年「健康第一」「安全第一」でやっていきたいと思います。そして今年を階段の踊り場ととらえ、十分なエネルギーと力を蓄えて、次のステージで飛躍するための年にしたいと思います。そして、昨年1年間、良いこともたくさんすれば良くないことも少々してきた人たちを含めて生徒諸君には、同時に次のことを呼びかけたいと思います。迷ったときに思い出してもらおうと思います。

「体力」「学力」の前に「人間力」を磨こう！

コロナ禍のもと、今年は、「健康ファースト」、「安全ファースト」を心がけよう。



具体的には、休養、栄養を十分に摂り、適度に運動しよう。

そしてじっと、エネルギーと力を蓄えよう。

これと並行して、「当たり前のこと」「簡単なこと」をしっかりとやろう。

そんな簡単に人間力を伸ばすための特効薬はありません。ただひたすら、

凡事徹底(ぼんじてってい)・英語で言うと thorough (サロウ)

日々の行動を大切に	①さわやかな挨拶
	②キッチリした服装
	③時間を守る
	④整理整頓
	⑤約束を守る
	⑥お礼を言う
	⑦素直に反省する

一度に全部を完璧に行うことは、なかなか難しいと思います。今週は①、来週は②と重点的に取り組んでみることも良いと思います。例えば1年生では、①挨拶と④整理整頓に重点的に取り組んでくれています。まずはこの3カ月間、各自でやってみて下さい。必ず、良い方向に向かうはずですよ。



ただひたすら、
平凡なことを
続ける努力をする。
非平凡なことも
すべてそこから始まる

鍵山秀三郎
日本を美しくする会相談役
イェローハット創業者
月刊『致知』より

致知
きょうは
ぐみゼロの日